

食と緑の

西三河地域レポート 2022

－ 食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして －

（2021年度の実績報告）



2022年8月

目 次

1	食と緑の西三河地域レポート作成の趣旨	1
2	重点推進事項の取組状況	2
(1)	農業の担い手の確保・育成	2
(2)	産地戦略による農業生産力パワーアップ	3
(3)	地域営農と農業生産基盤整備の促進	4
(4)	資源を生かす林業の実現	5
(5)	持続可能で活力ある水産業の実現	6
(6)	農産漁村の防災・減災対策の推進	7
3	「食と緑の基本計画 2025 西三河地域重点推進プラン」の取組目標に対する進捗状況	9

表紙 写真の説明



あいち型産地パワーアップ事業 なす丸型鉄骨ハウス（幸田町）



経営体育成基盤整備事業 碧南用水地区パイプライン化工事（碧南市）



新たな養殖技術実証試験（西尾市地先）



高性能林業機械（プロセスサ）による造材状況（岡崎市）

1 食と緑の西三河地域レポート作成の趣旨

愛知県は、将来にわたる安全で良質な食料等の安定的な供給の確保とその適切な消費及び利用、農地や森林等の有する多面的機能の発揮による安全で良好な生活環境の確保を基本理念とする「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」を2004年に施行しました。

この条例に基づき、食と緑に関する施策の基本的方針として、2005年に「食と緑の基本計画」を策定して以来、5年ごとに見直しを行い、現在は第4期目の計画となる「食と緑の基本計画2025」（以下「基本計画」という。）を2020年12月に策定・公表しました。

西三河農林水産事務所では、この基本計画の目指す姿の実現に向け、西三河地域の特徴と課題を踏まえた具体性の高い実行計画として、西三河地域重点推進プラン（以下「プラン」という。）を2021年3月に策定し、基本計画の推進とともに地域として重点的に推進しています。

この地域レポートは、プランの重点推進事項を的確に推進するため、プランの進行管理の一端として、2021年度に実施した主な取組の内容や地域の特徴的な取組事例を取りまとめたものです。

「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」の基本理念

- 将来にわたって安全で良質な食料等の安定的な供給が確保され、かつ、その適切な消費及び利用が行われること。
- 将来にわたって森林等の有する多面的機能が適切かつ十分に発揮されることにより、安全で良好な県民の生活環境が確保されること。



2 重点推進事項の取組状況

重点推進事項 1：農業の担い手の確保・育成

地域農業の将来を支える新規就農希望者を始めとした意欲ある人材の確保と育成に取り組みました。

また、女性農業者の経営参画の促進や、家族経営協定の締結に取り組みました。

取組内容①

令和3年度、新たに愛知県立農業大学校に設置された農起業支援ステーションと連携し、管内で就農を希望する者（個人39名、企業5社）の相談に対し、研修先の紹介、研修受講、就農計画の作成を支援しました。さらに、新規就農者に対して、基礎的な技術・経営能力の習得・向上のため、集合研修「NBAセミナー」を開催しました。

これら幅広い取組により、地域の将来を支える担い手となる就農希望者・新規就農者を育成しています。



就農計画策定会議



集合研修（NBAセミナー）

取組内容②

若手女性農業者を対象に「西三河女性講座」を開催し、延べ50名に対して農業経営や生産に関する基礎知識の習得を支援しました。講座に加え、個別巡回により経営への参画を支援した結果、販売管理や生産管理などの経営管理を担う女性農業者が増え、参画のレベルが向上しました。

また、農業経営における女性や後継者の役割の明確化等を支援した結果、19戸が家族経営協定を締結し、締結農家数は268戸となりました。



女性講座（先進農家視察）



女性講座（農業簿記）

重点推進事項２：産地戦略による農業生産力パワーアップ

生産者、農協、市町等の産地関係者からなる産地活性化プロジェクトチームに参画し、産地戦略※の達成へ向けて、施設整備や担い手確保の取組などへの支援を行いました。

取組内容①

管内に 13 ある各産地活性化プロジェクトチーム（以下、「PT」という。）のPT会議での検討・助言とともに、あいち型産地パワーアップ事業を活用したハウスの整備等により、産地戦略の達成に向けた支援を行いました。

また、フォローアップ会議において、担い手確保に当たっての工夫や産地ブランド力強化へ向けた取組などを紹介した成果発表を通じて、PT間の情報共有や連携強化を図りました。



幸田町なすハウス全景



PT会議成果発表の様子

取組内容②

JAあいち中央「なし」産地活性化プロジェクトチームにおいて、安城梨のブランド力強化に関するデータ収集及び認知度向上に関する取組、新規就農希望者の受け入れ体制づくりに対する支援を行いました。

また、JAあいち三河「いちご」産地活性化プロジェクトチームにおいて、新規就農希望者を対象とした「いちご塾」の取組、データ駆動制御装置によるスマート農業の推進に関する取組支援を行いました。



梨の品評会風景



いちご塾開講式

※産地戦略：生産力の向上のため、産地・品目ごとに、「人」、「農地」、「生産技術」、「施設等」の観点から産地のめざす姿について取りまとめたもの

重点推進事項３：地域営農と農業生産基盤整備の推進

稲・麦・大豆の各新品種による生産性の向上などと共に、担い手農家への農地集積・集約化や農地の大区画化、汎用化により、生産コストの削減を推進し、持続的な営農体制の構築を推進しています。また、農地や農業用施設の機能を維持するため、老朽化対策（更新整備）・長寿命化対策も併せて行っています。

取組内容①

水田の汎用化を推進するため、西尾市内の吉田新田排水機場において、ポンプの分解整備、電気設備の更新、ゲート設備や樋管の補修などの長寿命化対策を行い、ポンプの排水能力を増強しました。



分解整備されたポンプの据付状況



ポンプの電気設備の更新

取組内容②

県産ブランドである水稻「愛ひとつぶ」の出荷基準の一つである玄米タンパク質含量を、収穫後でなく、生育期間中に葉色を衛星やドローンで撮影することで、ほ場ごとに予測できる可能性が確認できました。

追肥などの作業適期を迅速に把握できる技術として期待されます。

また、小麦「きぬあかり」、「ゆめあかり」の品質及び収量の安定や、大豆の増収に向けた栽培技術の向上に取り組みました。



ドローンによる生育調査



衛星画像による葉色診断

重点推進事項 4：資源を生かす林業の実現

木材価格の長期にわたる低迷や林業従事者の高齢化、減少により、木材生産の活動が停滞している状況であったため、施業地の集約化や高性能林業機械活用による施業の効率化、各種補助事業の活用とともに、県が発注する間伐工事からも木材を搬出し、木材生産量の増大を図りました。

取組内容①

効率的な森林施業を実施していくために、まとまりのある事業地となるよう、森林組合等による森林経営計画の策定を指導支援し、新たに2地区、約336haが新規認定されました。

また、岡崎市が森林所有者の意向を確認した上で経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林を事業体に再委託し、適さない森林は市が管理を行うという「森林経営管理制度」の取組みに対し技術的支援をしました。

同管理制度の円滑な実施に向けては、県が管理する森林（分収林）が隣接点在する地区において、関係者間の連携を促し、県と事業体の共同による森林経営計画の策定に向け、協議を進めています。



森林経営管理制度の地元説明会

取組内容②

造林事業や市町、（公財）矢作川水源基金による間伐等の事業実施を働きかけ、搬出間伐を推進しました。また、県が進める「あいち森と緑づくり事業」の間伐事業地からの木材搬出を進めるとともに、その他の間伐地からも「額田木の駅プロジェクト」※による木材搬出を働きかけました。

さらに、高性能林業機械を始めとした低コスト木材生産システムの普及に努め、木材生産量を増大させるため、高性能林業機械の活用指導を行い、木材生産の効率化が図られるよう取り組みました。



フォワーダによる間伐材の搬出

※額田木の駅プロジェクト：岡崎市額田地区の森林所有者らが間伐等で発生した木材を各地区にある集積場所（「木の駅」）に運搬し、出荷する取組



タワーヤーダによる集材の研修

重点推進事項 5：持続可能で活力ある水産業の実現

内湾の水産資源増大と漁場環境改善を図るため、干潟・浅場及び貝類増殖場の造成を行うとともにあさり等 7 魚種の種苗を放流しました。また、あさりを捕食するつめたがい、ひとでなどの食害生物の駆除を指導するとともに、あさり及びかきの養殖技術の導入のための実証試験を実施しました。

取組内容①

漁家経営の安定を計るため、あさり及びかきの養殖技術の導入試験を行いました。

あさは冬期の風浪による減耗を避ける目的で、カゴを利用したバスケット方式等の養殖試験に取り組みました。

かきは一粒ずつ分かれた状態で養殖ができ、さらに殻の形が良く、身入りも良くなるシングルシード方式で養殖試験を行い、漁獲サイズまで成長したかきを仲買業者に試食を依頼し、品質や価格等の評価を得ました。



養殖用バスケットを利用したあさり養殖



試食に供したかき

取組内容②

県の栽培漁業センターで生産されたくるまえびをはじめ 6 種類の種苗を、当事務所の水産業普及指導員の技術指導を得ながら漁業者が管内地先で合計 9,476 千尾を放流しました。

また、県と漁業者が連携して行った豊川河口におけるあさり稚貝の生育状況調査の結果を基に、漁業者があさり稚貝 654 トンを採捕して管内沿岸のあさり漁場へ放流し、水産資源の維持増大を図りました。



放流を待つくるまえび



とらふぐの放流

重点推進事項 6：農山漁村の防災・減災対策の推進

大規模地震での安全性や豪雨耐性が不足する農業用ため池の決壊を防ぐため、対策工事を進めています。また、排水能力が不足する排水機場の更新を進めています。

森林において、荒廃するおそれのある溪流には治山ダムや流路工など、山腹崩壊の恐れのある斜面には土留工や法枠工などの治山施設を設置し、防災・減災機能の向上を図っています。

取組内容①

大規模地震により決壊の恐れがあった幸田町地内の石塚池では、堤体の上下流部に押え盛土を設置し、地震に強い構造に補強しました。

また、地震発生時に速やかに池内の水を排水するための緊急放流施設を新設したことにより、本ため池の耐震性能が大きく向上しました。



石塚池(正面)



石塚池(上空)

取組内容②

流域開発や老朽化等により施設の排水能力が不足していた刈谷市内の前新田排水機場では、周辺からの降雨等の流出を速やかに河川へ排水可能とするため、排水能力を増強した新たな機場の供用を開始しました。

また、建屋や下部工等の構造物の耐震性能も現行基準を満たす構造となり、近隣住民や操作員が安心できる排水機場になりました。



新前新田排水機場(正面)



新前新田排水機場(建屋)

取組内容③

林内に点在する岩盤の風化の進行に伴う林内からの転石を防ぐため、岡崎市東河原町地内の旧大雨河小学校の周辺背後の森林において、ロープ伏工で岩盤を固定し防災機能の向上を図りました。

旧大雨河小学校は一時避難場所に指定されており、集落の方々の安全・安心な避難に貢献できました。



固定工(岡崎市)



一時避難所(旧大雨河小学校)

取組内容④

岡崎市宮石町地内の人家裏の山腹斜面において、山腹崩壊を防止するため法切工で急斜面を緩和し、土留工で山脚を固定、山腹斜面は簡易法枠工を実施して、防災機能の向上を図りました。



土留工と簡易法枠工(岡崎市)



施工前の状況



3 「食と緑の基本計画 2025 西三河地域重点推進プラン」の取組目標に対する進捗状況

(1) 農業の担い手の確保・育成

ア 新規就農者の確保

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	33人／年 うちJAあいち三河、JA西三河いちご産地における 新規就農者の確保・育成 各3人／年						
実績値	30						
うち JA あいち三河	10(3)						(うちいちご)
うちJA 西三河	11(4)						(うちいちご)

イ 家族経営協定締結数

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	285(30増／5年)						2020年 255
実績値	268						

(2) 産地戦略による農業生産力パワーアップ

ア 戦略を推進する補助事業の活用

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	2件／年						
実績値	28						

イ 新たな産地戦略の策定・実行

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	2産地／5年						
実績値	2						

ウ あいち型植物工場の導入面積

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	10%増加／5年						2020年 38ha/168ha
実績値	0.4%増						

エ 畜産クラスター事業に参画する取組主体

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	2戸以上／5年						
実績値	0						

(3) 地域営農と農業生産基盤整備の推進

ア 担い手への農地集積面積

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	11,236ha						2020年 9,322ha
実績値	9,537						

イー１ 新品種の普及一稲「ミネアサヒ SBL」

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	250ha						
実績値	261						

イー２ 新品種の普及一稲「愛ひとつぷ」・「愛知135号」等

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	150ha						
実績値	61						

イー３ 新品種の普及一小麦「ゆめあかり」

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	1,000ha						
実績値	899						

ウ 大豆の単収

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	20%増						2016～20の平均 117.6kg/10a
実績値	143.3						2021～24 は年度の単収

エ 農業生産基盤整備（新規）

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	140ha/5年						2020年整備済面積 11,919ha
実績値	0						

才 農業生産基盤整備（再整備）

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	3,366ha／5年						
実績値	132						

（４）資源を生かす林業の実現

ア 管内木材生産量

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	12,000m ³ ／年						2016～19年の平均 10,855 m ³ ／年
実績値	13,409						1～12月末実績

イ 森林経営計画新規策定面積

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	700ha／5年						
実績値	335.7						

ウ 木材生産に寄与する搬出間伐面積

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	57ha／年						2016～19年の平均 51.5 ha／年
実績値	54.3						

(5) 持続可能で活力ある水産業の実現

ア 西三河地区の海面漁業及び海面養殖業生産量

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	2万トンの維持						2016～18年の平均 19,922 トン
実績値	10,607						

イ 干潟・浅場及び貝類増殖場造成による漁場生産力の強化

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	5か所以上／5年						
実績値	3						

ウ 漁業者によるあさり等の海産種苗の放流

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	7種／年						
実績値	7						

(6) 農山漁村の防災・減災対策の推進

ア 農業用排水機場、ため池等の更新・整備

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	受益面積 1,147ha/5年 内訳 基幹的排水機場 11か所 防災重点ため池 10か所						
実績値	132						
基幹的排水機場	1						
防災重点ため池	3						

イ 治山施設の整備による防災機能の向上面積

項 目	2021	2022	2023	2024	2025	達成率 (%)	備 考
目標値	200ha/5年						
実績値	40.2						



食と緑の西三河地域レポート 2 0 2 2

—食と緑が支える豊かな暮らしをめざして—

2 0 2 2 年 8 月 発 行

愛知県西三河農林水産事務所
岡崎市明大寺本町 1 - 4
電 話 0564-23-1211 内線 2436 (農政課)
電子メール nishimikawa-nourin@pref.aichi.lg.jp



西三河農林水産事務所